



外国出張報告書

平成 26 年 11 月 10 日

1. 出張国名 タイ
2. 出張月 平成 26 年 10 月
3. 出張目的 チーク人工林産物の価値付加につながる環境
ラベリングの可能性探究のための意見交換と情報収集：C

4. 成果の概要

環境ラベリングに関する日本の先行事例をタイ王室森林局（Royal Forest Department; RFD）側に示したことで、環境ラベリングに基づく木材への付加価値の意義と動向に関して知識共有が成された。タイ国内における環境ラベリングに基づく付加価値事例（林業以外含む）の情報収集をすることから、チーク人工林林業への適応可能性を検討するという今後の調査方針について合意した。

「一般消費者のチーク家具に対するニーズ」補足アンケート調査として、バンコク都及び周辺県において RFD 側が実施した調査票データをチェックした。調査結果の簡易集計から、チーク材を他の材料と比較して購入を検討する購買者層の特性が把握できていることが確認された。